

第 44 回研究評価委員会に附議された評価報告書（案）に対する委員会コメントについて

第 44 回研究評価委員会（平成 27 年 10 月 14 日開催）に諮ったプロジェクト中間評価報告書 2 件及び事後評価報告書 3 件について、委員会における討議を踏まえ、以下のコメントを附記することで確定した。

1. 水素利用等先導研究開発事業（中間評価）

全体の目標あるいは戦略の最適化について、推進部署と実施者が一体となって議論を継続して頂きたい。個々のプロジェクトに関しては、見直しの必要もあるので、推進部署にて適宜選択と集中を行って頂きたい。

2. 先進・革新蓄電池材料評価技術開発（中間評価）

評価技術等のノウハウが先進・革新蓄電池の開発を促し、日本の蓄電池技術の競争力を高めるような戦略を、標準化も含めて再考する必要がある。

3. がん超早期診断・治療機器の総合研究開発（事後評価）

今後の事業化では、機器開発や医薬品創出に対するイノベーション創出の担い手をなお一層支援し、最終的に社会医療費低減に貢献することを期待する。

4. 次世代機能代替技術の研究開発（事後評価）

個々の実施者が自らの研究開発に注力しつつ、プロジェクトとしては情報を共有できるような体制、仕組み等をあらかじめ備えておけばより有効な成果につながったと考えられる。

5. 後天的ゲノム修飾のメカニズムを活用した創薬基盤技術開発（事後評価）

本プロジェクトにて得られたデータを今後有効に活用できるよう、そのための方策を早期に検討すべきである。